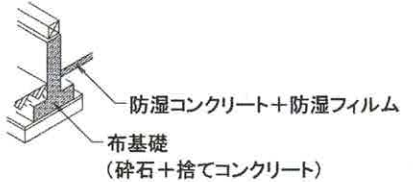


- ◆断熱工事(木造住宅工事仕様書)
義務化は1989年(H元)(旧省エネ基準(S55))。
* 現在もそのまま(基準金利)。
- ◆外壁内通気層(木造住宅工事仕様書)
2001年(H13)から仕様書に記載(義務化ではない)。
- ◆木造躯体(建築基準法、木造住宅工事仕様書)
1981年(S56)、耐力壁量、筋かいの接合など(新耐震基準)。
2000年(H12)、耐力壁の配置・柱の接合の基準。
- ◆2階床の仕様(木造住宅工事仕様書)
根太床、剛床がある。根太床では火打ちばりが必要。
図は剛床仕様。
- ◆基礎の仕様(木造住宅工事仕様書)
基礎の立ち上がりはGL+400mm以上を標準(2001年(H13~))。
それ以前はGL+240mm以上(300mmを標準)。
- ◆床下換気(木造住宅工事仕様書)
外周部基礎に床下換気孔(300cm²以上、4m以内)。
ねこ土台(基礎パッキン工法)は2003年(H15)から。



木造住宅構造各部の名称

2015.12 作成